

12月9日、悲田処跡公園で、樹木の剪定について、市役所公園課の担当者2名と、地元住民及び自治会役員の現場立会がありました。



悲田処跡公園は樹木が生い茂り、夏は涼しいのですが、暗く、蚊も多く、子どもたちが遊ぶには課題があると、地元住民から剪定の要望が出ていました。自治会から市役所の公園課に剪定を申し入れており、本日の現地立会として実現しました。

常緑樹2本と花の咲かない桜の木1本の剪定が市役所と合意しました。ただし、大きい常緑樹の剪定範囲については、緑環境保持と予算の都合上、再度検討し、来年度の剪定になる予定です。

このように、住民の皆さんの意向が、自治会活動に反映され行政に生かされています。

所沢松が丘自治会 会長 藤原敏郎

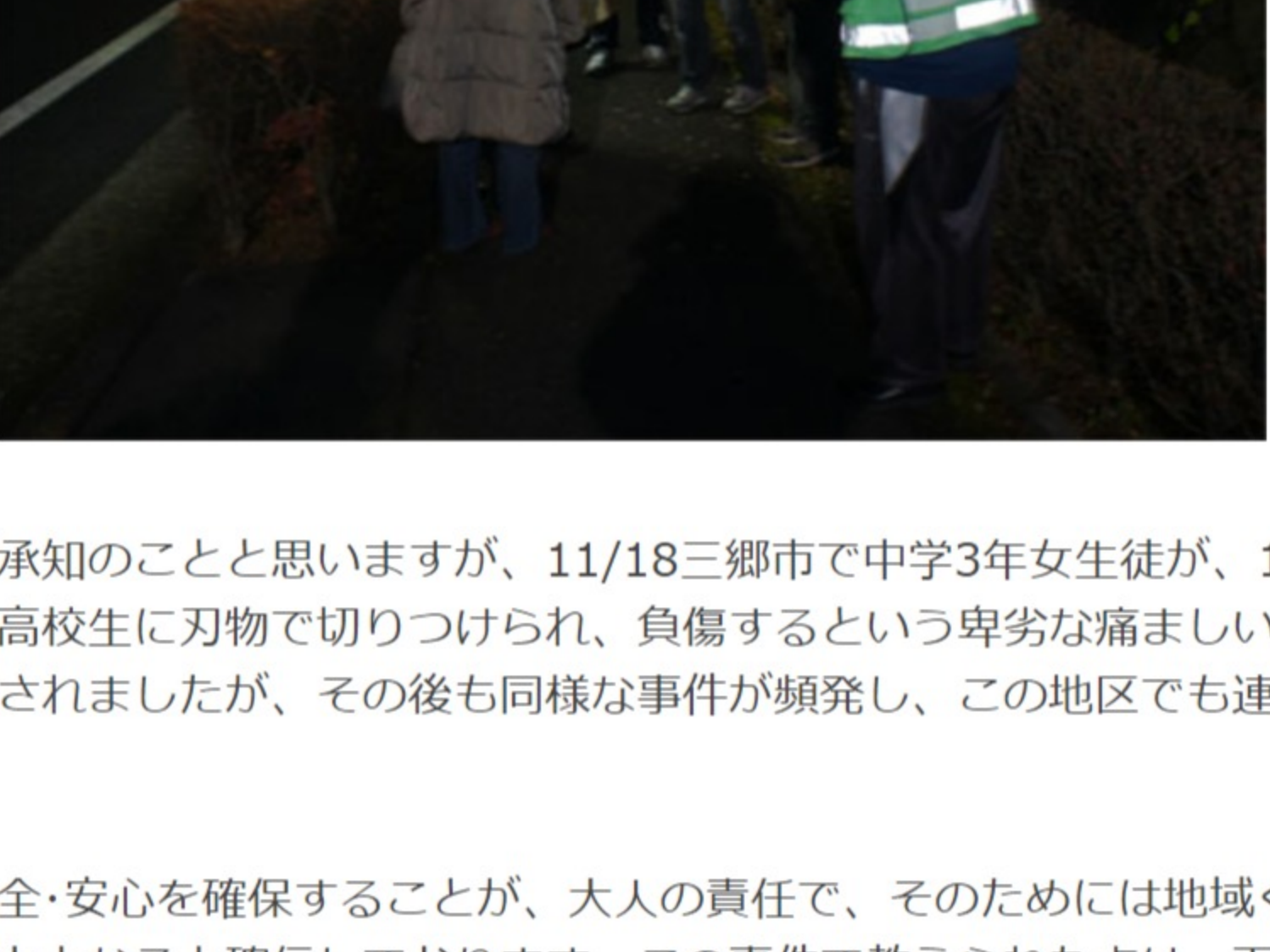
0コメント

1.自治会連絡事項：緊急防犯ニュース

緊急のお願い

日ごろは自治会活動にご協力いただきありがとうございます。

本日（10日）夜、松が丘全域にて防犯担当班長さんが中心となり、歳末防犯パトロールを実施しました。最近感じた点は、会員皆さんの門灯点灯のご協力により、以前に比べ明るい街になったことでした。今後とも地域の防犯のため、引き続き門灯点灯のご協力をお願いいたします。



さて、ご承知のことと思いますが、11/18三郷市で中学3年女生徒が、12/1松戸市で小学2年女児が、男子高校生に刃物で切りつけられ、負傷するという卑劣な痛ましい事件が発生しました。犯人は逮捕されましたが、その後も同様な事件が頻発し、この地区でも連鎖的発生が心配されます。

子供の安全・安心を確保することが、大人の責任で、そのためには地域ぐるみで取り組むことが、大きな力となると確信しております。この事件で教えられた点は、下校時に一人になるわずかな時間をいかに少なくするかがポイントではないかと思われまます。

そこで、このような痛ましい事件の発生を防ぐために、自治会の皆さんに子供たちを温かく見守るよう以下の2つのご協力をお願いいたします。

一つは、「学童見守りパトロール隊」の増員です。現在松が丘地域では、南小と荒幡小の登下校時にPTAとボランティアの「学童見守りパトロール隊」の皆さまが、子供たちの安全のため献身的な活動を行っています。2学期以降少しずつ増えていますが、まだまだ人数が足りませんので、多くの方の参加をお願いいたします。

もう一つは、各家庭の皆さんにご協力のお願いです。子供たちの下校時に合わせて、午後2時30分頃から4時頃の間、外での用事（例えば買い物、散歩、水やりなど）を行い、子供たちへの目配りをお願いいたします。

子供たちの安全・安心のために、PTA、自治会、ボランティアが連携をさらに強めて、活動して参りますので、自治会員皆さまのご参加・ご協力をお願いいたします。

防犯および学童見守りパトロールに関してのお問い合わせは、以下の担当をお願いいたします。

- (防犯担当理事) 1丁目 林 理事 2丁目 宮下 理事
- (学童見守りパトロール) 1丁目 林 2丁目 鶴田

0コメント

1.自治会連絡事項：防犯ニュース 23-3号

身近な犯罪発生状況

《23年1月～10月犯罪発生状況》 所沢警察署資料より ()は22年1～10月発生件数

	総発生件数	侵入盗	車上狙い	自転車盗	その他
松が丘1丁目	2 (4)		(1)	(1)	2 (2)
松が丘2丁目	1 (1)			(1)	1

・松が丘地区では、この10か月間では前年比2件減の3件の犯罪の発生がありました。なおその内訳は、車上狙いをしようと車を傷つけた器物損壊が2件、10月には敷地内に侵入し干していた物を盗む犯罪が発生しました。さらに11月に同様の侵入盗が続いて発生しました。

・近隣の久米・荒幡地区は、侵入盗、自転車盗など昨年に比べ増加していますが、発生件数総数では減少しました。

・振り込め詐欺被害は、所沢市内では、この10か月間では12件発生し、約4543万円の被害が発生しています。

《埼玉県警からのお願い》

振り込め詐欺被害防止には留守番電話が有効です！

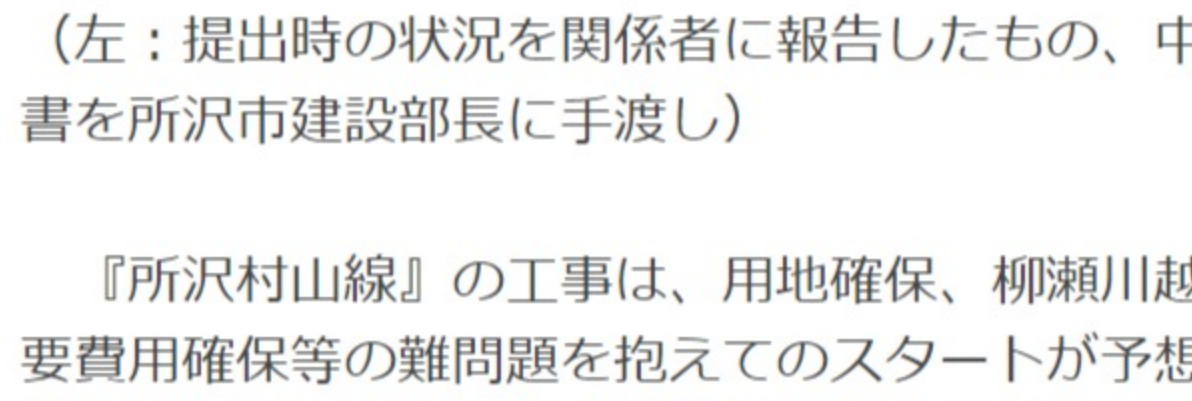
- ・電話に出ると冷静さを失って、相手のペースに乗せられてしまいます。
- ・留守番電話にしてあれば、録音されるのを嫌って、電話を切ります。
- ・連絡が必要な相手には、自分で控えている電話番号に架けなおせば問題ありません。
- ・押し売りや悪徳商法の被害防止にも役立ちます。

防犯担当理事 林、宮下

0コメント

1.自治会連絡事項：『所沢村山線』の即時事業化を目指して！

飯能所沢線と所沢村山線



飯能所沢線の東京都への延伸計画が、平成23年9月に東京都の「都市計画審議会」で決定されました。

埼玉県は、飯能所沢線の第二工区の「川島田橋（現在仮橋）」の工事を12月から着手する旨、地元説明会を11月17～18日に実施しました。

説明では、約3年間の工事期間後、“あまいけ”まで暫定2車線（上り下り各1車線）での開通を予定しています。

出席した多くの地元住民からは、約3年間の工事期間中に、仮橋の迂回や大型ダンプ等が通行することに対し、信号器設置等の安全対策や生活用の歩道確保など地元の意見を要請したが、具体的な回答が得られず、殆どの出席者からは厳しい苦情が殺到しました。

こうした中、飯能所沢線に交差・接続する『都市計画道路・所沢村山線（3・3・4）』は、平成10年9月に県事業として、整備することが確定していますが、その後は何らの進展もなく今日に至っております。

そこで、松が丘自治会は、松が丘住宅街や久米地区を通過道路として利用する車両が今後急増することを懸念し、地域の町内会長の皆さんにお願い、吾妻町内会連絡協議会として協力して、県や市に対して、この硬直状態を打破するべく『要望書』を作成しました。そして近隣自治連合会や小中学校長にも署名捺印のご協力を頂き、去る11月21日に高木会長ら3名で、埼玉県知事及び所沢市長宛に、“要望書”を提出してまいりました。

(※下記写真はクリックすると拡大します。)

所沢市建設部 建設課長 藤原敏郎



県庁で



市役所で

(左：提出時の状況を関係者に報告したもの、中央：要望書を県土整備部長に手渡し、右：要望書を所沢市建設部長に手渡し)

『所沢村山線』の工事は、用地確保、柳瀬川越え、西武池袋線のアンダーパス等工事期間や必要費用確保等の難問題を抱えてのスタートが予想されますが、これが出来なければ、吾妻地域全域では、所沢市内の産業構築の活性化や地域の環境安全と子供たちの通学路（スクールゾーン）の安心安全の確保が危ぶまれ、現在の春の台住宅街や荒幡交差点付近住宅街の通過車両による交通問題と同様な状況が、今後、何年も続くことが想定されます。

また、現在の第三工区（久米・松が丘地内）においても、用地買収から東京都への繋がり等難題を残しておりますが、一日も早く全線開通を願うのは、周辺地域住民の皆さんの願いであり、これからは、県や市は、こうした課題について地域の関係者との協議会等を開催して、地域住民との意見交換による民意を大胆に反映させ、対応して下さいをお願いするものであります。

平成23年11月30日 所沢松が丘自治会 会長 藤原 敏郎

0コメント

1.自治会連絡事項：広報・松が丘97号の発行のお知らせ



広報・松が丘97号を発行いたしました。敬老会を中心に防犯教室、歩こう会等の様子が掲載されています。(※写真はクリックすると拡大します)

広報松が丘97号文芸欄一句目の俳句に誤りがありました。

- 誤 「佃島の大橋の影秋夕焼け」
- 正 「佃島の大橋の影秋夕焼」

謹んで訂正しお詫び申し上げます。

編集理事 渡辺、岩本

佃島の大橋の影秋夕焼
一丁目 布田 尚子

「一見して平明に見える見届けを述べた作であるが、誠に見て、視て観ているという作として、適確に仕上がった作である。大橋の影を美感に、ありありと見届け把握して、その影を秋夕焼けが包んで、水面にも映えて誠に美しくあるのを、読み手に届けています。秋は「釣瓶落とし」の季節もあるように日の暮れは誠に早い。秋夕焼も長くはない。それ丈に作者は時を惜しんで、心象も深く見届けたのである。虚子の名句「遠山に日の当たりたる枯柳かな」も見届け句。

0コメント